

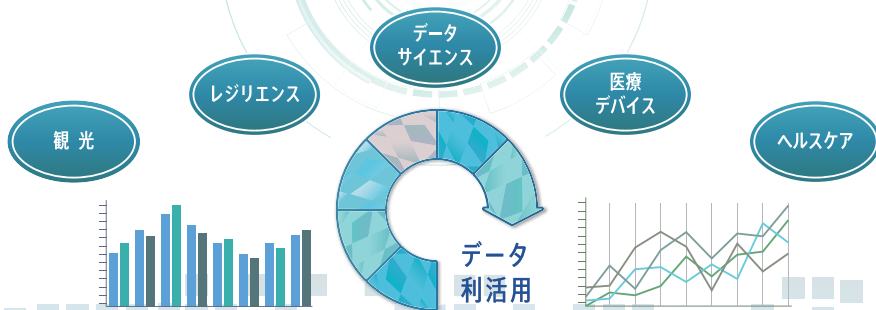


▶ 先端と応用をつなぐ ▶ 世界と地域をつなぐ ▶ 今と未来をつなぐ

オープンイノベーション*のプラットフォームとして、「組織」対「組織」の研究連携を一体的にマネジメントする「イノベーションデザイン研究所」を平成30年10月に設置しました。分野横断的な研究チーム編成と、プロジェクトマネージャーによる進捗管理で、「特別共同研究」を強力に推進し、未来を拓く人と技術の創生を目指します。 * 新技術の開発に際し、組織を越え、広く知識・技術の結集を図ること

「社会の仕組みのイノベーション」に取り組む

香川大学イノベーションデザイン研究所



「組織」対「組織」の研究連携から生まれるイノベーション

先端研究の推進はもちろん、先端研究の地域での実証により、そのリスクを明確にし、社会が受容可能となる技術のありかたをデザインすることで、新たな社会に貢献する研究に産学官が一体となって取り組みます。

特別共同研究とは

イノベーションデザイン研究所においてマネジメントする大型研究プロジェクトのことで、原則として、複数部局による分野横断的な研究チームで実施します。研究プロジェクトごとに、参画研究者の研究を統括するプロジェクトリーダー、研究の進捗管理、資金管理を行うプロジェクトマネージャーを配置します。

- 1 提案力**
未来を拓き、新たな価値の創出につながる研究テーマを創出・提案します。
- 2 時間短縮**
一元的で迅速な対応により、申込みから、研究開始までの時間が短縮されます。
- 3 最適なチーム**
全学研究者から、研究の目的に応じた最適な研究チームが編成されます。
- 4 マネジメント**
参画企業等の意見・要望を踏まえた研究の進捗管理により、プロジェクトを推進します。
- 5 効果的な資金運用**
研究資金の的確なマネジメントにより、効率的な運用がはかられます。
- 6 人材育成**
外部の研究員受入れにより企業等の研究人材のブラッシュアップにつながります。

イノベーションデザイン研究所がマネジメントする特別共同研究のメリット